

日本共産党 大津市会議 員団ニュース

No.180

2016年5月号②

大津市御陵町3-1(市役所内)
TEL&FAX: 077-524-5613

ご意見・ご要望を
お寄せください。
info@otsu-jcp.net



6月通常会議の 予定

6日(月) 議案提案
13日(月)~17日(金)
一般質問
29日(水) 討論・採決

会場は大津市役所です。ぜひ傍聴にお越しください。インターネット中継も行われます。

※請願の締め切りは、6日正午です。請願の提出には、紹介議員が必要です。お気軽にご相談ください。



平和・福祉・まちづくり...

安心して住み続けられる大津市へ 力を合わせてがんばります

5月16日、今年度の市議会を開会する招集会議が開かれました。新しい市議団となつて2年目、さらに市民のみなさんと力を合わせて、暮らしを守る市政を目指し奮闘する決意です。

児童クラブの充実で 子どもたちに豊かな放課後を!

2016年度が始まり、市内の各児童クラブでは全体で867人の新1年生が入所し、全体で2,800人の児童が生活しています。共働き世帯、一人親世帯が増加する中で、ますます児童クラブの必要性が高まっています。

大津市では公設公営となつて、待機児童なし・高学年の入所・午前からの開所が継続され、「児童クラブガイドライン」の策定でクーラーの設置、「男女別トイレ」の設置など施設の改善が進んでいる反面、市内の半数近い児童クラブで「子ども1人当たり1・65平方メートル」の面積基準を満たしていないマンモス化が進んでいます。子どもたちの成長と発達を保障するための環境整備は喫緊の課題です。

こうした現状のもとで、指導員と保護者が連携して子どもたちに豊かな放課後を取り組まれている大津市学童保育連絡協議会の定期総会が5

月8日に開催されました。報告ではマンモス化の解消が先送りされていることや、補助金加算や指導員加配が不十分で学童保育を担う指導員の労働条件が不安定なことから働き続けられる環境に改善する必要があることなど問題点も明らかにされました。保護者や指導員のみなさんと力を合わせ、児童クラブの充実をめざして取り組みます。

第86回県民メーデー

野党共闘で安倍政権を倒し、立憲主義を取り戻そう

滋賀県民メーデー中央集会が5月1日膳所公園で開かれ、

党市議団もそろって参加しました。

今年は社民党の小坂県連合代表が出席、民進党の田島県連代表のメッセージも寄せられ、歴史的にも画期的なメーデーとなりました。

リレートークでは、労働者の権利を守るルールの確立、高浜原発訴訟、戦争法廃止を

求める「2000万署名」の取り組みなど盛りだくさんの内容で、集会最後は「人間らしく働き、生きることのできる社会を実現しよう」との宣言で締めくくられました。

党市議団はデモ行進の後、パルコ前で「2000万署名」と熊本地震の救援募金にも取り組みました。



◆今年度の議会の役職と各議員の常任委員会・特別委員会の所属と役割が決定されました。
杉浦(党市議団幹事長): 教育厚生常任委、防災対策特別委 岸本(副幹事長): 総務常任委副委員長、公共施設対策特別委 石黒: 施設常任委、総合観光対策特別委 立道: 施設常任委、高齢者生活支援特別委 林: 生活産業常任委、公共施設対策特別委副委員長



9条守れのデコレーションをつけてデモ行進

市民の不安に応え、早急に対策を 住宅地目の前にむき出しの崖

―秋葉台地先造成工事―

大津市秋葉台地先で、2014年に着工された宅地開発工事が、昨年から中断され、高さが20メートル以上の崖となつている状況に、地域住民の不安の声があがり、市の適切な対応が求められています。TVの情報番組などでも報道がありました。が、瀬田川を挟んで対岸からも山肌むき出しの現場を臨むことができます。

本工事は茶臼山公園の南東側に広がる土地を造成し、住宅を9棟建設し販売を予定することと併せて、斜面は階段状に水路なども設け整備するというところで、大津市が草津市の事業者に許可を出しました。

造成のために掘削工事が進められてきた頃に台風の影響で一部が崩れ、泥水が流出するなどの事態となり、市の担当課による是正の指導が行われましたが、以降改善がなされないまま放置されてきました。事業

住宅の目の前に山肌が露出しています
写真提供：滋賀民報社

なり、市の担当課による是正の指導が行われましたが、以降改善がなされないまま放置されてきました。事業



「住民の足・湖西線を守ろう」学習会

北陸新幹線の延伸に伴い、湖西線がJRから経営分離される危険があることが明らかとなり、多くの住民、市長からも反対の声が上がっています。

北陸新幹線と湖西線の関係は？
経営分離されたらどうなるの？
みなさん、一緒に学習しましょう。

日時：5月21日（土）午後1時30分～
場所：小野市民センター 1階大会議室

(大津市湖青1丁目1-2)
077-594-2000

講師：近藤宏一立命館大
学教授（交通権学会元理事）
主催：湖西線を守る住民
の会（準備会）



者はこの事態を資金繰りの悪化が理由だとしています。地域の方に話を伺うと、造成工事が始まる時から「9棟の住宅を販売して採算が取れる事業なのか」「土を掘り出して、売ることが目的ではないのか」などの不安を感じていたとのこと。

型の土嚢が積まれるなどの応急的な防災工事が進められています。しかし、そもその宅地造成自体の今後の行方は明確になっていません。宅地開発工事の計画の妥当性や許可の経緯などの検証を行う必要があります。

いつまでも戦争をしない国でありつづける ために―憲法の9条を掲げがんばろう！―

滋賀・憲法のついでに参加して

5月5日大津市生涯学習センターで、滋賀・九条の会主催の第12回滋賀・憲法のついでが開かれ、平和への願いをシャンソンにのせたミニコンサートと、『戦争する国』日本へと爆走する安倍政権―どう立ち向かうか』と題した、憲法学者の森英樹さんの講演が行われました。

政権の独裁政治を許さないことが大切だと学びました。閉会の挨拶で、白石事務局長は、大事なことは憲法が教えてくれると結ばれ、平和への願いを新たにしたいと述べた。

ミニコンサートは、「あたらしい憲法のはなし」の朗読とあわせて憲法九条の大切さを歌った「あの日の授業」など、もう誰も、戦争で大切な人を失わない世の中であって欲しいという願いの込められた、聴く者の涙を誘う素晴らしい歌声でした。

日本の宝であり世界の希望である憲法9条の旗を降ろさせないよう、踏ん張り時です！大津市会議員団も、野党統一候補に決定した林久美子さんを全力で応援していきます。もちろん、比例代表は佐藤こうへいさんを先頭に、日本共産党を力強く訴えていきます。

(林まり)

講演では森氏が、「集団的自衛権は、ヤクザと同じで、関係のないアメリカ組のケンカに参加することであり、南スーダンでは必ず戦死者が出ます。」と力を込めて語られ、7月に迫った参議院選挙を新たな市民運動と共同して勝利し、憲法を壊す「壊憲(かいけん)」を行う、安倍



320人の参加者を前に熱く語られた森英樹氏